



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.602 2021.4.21

日本共産党北区議員団
〒114-8508 王子本町1-15-22
ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

高齢者のコロナウイルスワクチン接種

4/23より
接種券送付

まずは75歳以上から

接種対象年齢	接種券発送	予約受付開始	接種開始日
75歳以上	4月23日	5月6日	5月10日
65～74歳	5月10日	5月24日頃	5月24日頃

北区でも高齢者のコロナワクチン接種が始まります。まずは75歳以上の方に、4月23日から接種券が送付されます（受付開始は5月6日から）。接種会場は当面、区内3カ所の接種センターですが、特養ホーム入居者は先行して施設内で接種を開始します。詳しい情報は、区ホームページでご確認下さい。（のの山けん）

当面の会場は3つの接種センター

※近くの病院やクリニックでも接種できるよう調整中です。



第1 接種センター：東京北医療センター
(赤羽台4-17-56)

第2 接種センター：明理会中央総合病院
(東十条3-2-11)

第3 接種センター：花と森の東京病院
(西ヶ原2-3-6)

北区新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター

0120-801-222 (フリーダイヤル)

※午前9時から午後5時、土日・祝日を除く。英語・中国語・韓国語対応

ワクチン接種に関する情報はこちら→
(北区ホームページ)



国は具体的なスケジュール示せ

ワクチン接種、そねはじめ都議が街頭で訴え

日本共産党の、そねはじめ都議は連日街頭から訴え。北区内でも医療従事者のワクチン接種が思うように進んでおらず、供給の見通しに関する政府の情報発信も二転三転しているため、「国民の不安を解消するために、国が責任をもって具体的な接種までのスケジュールを示すべき」と求めています。



映画「主戦場」が問いかけるもの

平和のための北区の戦争展実行委員会・北区平和委員会が上映会
ジャーナリスト・安田浩一氏が講演



17日、赤羽会館で、映画「主戦場」の上映会（主催は平和のための北区戦争展実行委員会・北区平和委員会）に参加。映画の鑑賞は2度目だが、日本軍「慰安婦」問題をめぐる論争について冷静かつ論理的な整理を行いながら、両者の主張を対比させる卓越した編集技法に、今回もまた引き込まれてしまった。

日本軍「慰安婦」問題は1991年、元慰安婦・金学順（キム・ハクスン）さんの勇気ある証言により明るみになった。当時の日本政府は十分とはいわれないまでも、しかるべき調査の上で、「旧日本軍が直接あるいは間接にこれに関与した」とし、「同じ過ちを決して繰り返さないという固い決意」を示す河野官房長官談話を発表した。これを根底から覆そうと攻勢をかけたのが



日本軍「慰安婦」問題を扱った絵本「花ばあば」の一場面を再現したリアル軍服の展示。＝映画「主戦場」上映会場にて

「歴史修正主義」勢力であり、ここが論戦の「主戦場」であるが、映画はその空疎な論理を暴き、痛切な批判を加える。
安田浩一氏は講演で、いまなお様々な差別が容認される日本の現状を告発したが、植民地支配責任を真摯に反省できない政府の下では、日本軍「慰安婦」問題の根本的解決は望むべくもないであろう。（のの山けん）

東京から日本の政治変えよう

日本共産党オンライン演説会 志位和夫委員長が訴え



21日、日本共産党演説会を赤羽会館でライブ配信しました（写真右）。参加者から、「国政・都政を変える志位和夫委員長の具体的な提案に元気が出た」などの感想が寄せられました。（のの山けん）